

令和7年度 武蔵村山市立第八小学校 学校経営方針

学校名 武蔵村山市立第八小学校

校長名 井口 洋

教育目標

人権尊重の基盤に立ち、創意に満ちた教育活動の推進に総力をあげ、人間性豊かで思いやりがあり、21世紀を逞しく生き抜く国際感覚豊かな子供を育てる。

- ◎考える子 きたえよう頭を
- 思いやりのある子 みがこう心を
- やりとげる子 つよくしよう心と体を
- 礼を重んずる子 あらわそう思いを
- 行動目標 わけをそえて話すことができる子

1 目指す特色ある学校像

自分大好き 友達大好き 学校大好き 八小の子 (目指す児童像)

人間力を高め、夢と希望を育み、笑顔あふれる学校 (目指す学校像)

苦楽を共にし、子供のために力を尽くす チーム八小 (目指す教師像)

- ① 地域を愛し、地域に開かれ、地域と共に歩む学校 (コミュニティ・スクール)
- ② 午前5時間制により、元気、根気、本気、勇気(4つの気)を育む活力のある学校
- ③ 礼儀やマナーを身に付け、明るい挨拶やそっと会釈のできる温かみのある学校
- ④ 「楽しい授業」「わかる・できる授業」「考える授業」を通し、確かな学力を育てる教育力のある学校
- ⑤ 子供が学校を誇りに思い、保護者・地域に愛され、信頼される学校

キーワード「ABC」(Aあたりまえのことを B ばかりにしないで C ちゃんとやる)

2 学校経営の目標・経営の具体策

- (1) 全国学力学習状況調査(算数科)における平均正答率を、令和8年度までに全国平均に引き上げる。
- (2) 知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力の向上のために
 - ①「八小授業スタンダード」に則した授業を実施し、習熟タイムの有効活用を図る。
 - ②算数科と漢字学習で期末テストを継続実施する。
 - ③個別最適な学びを目指し、なるほど塾及び錬成塾等を行う。
 - ④全学年でまちづくり学習の実施をとおして、課題解決力の向上を図る。

*期末テスト、なるほど塾、錬成塾については、成果検証を図り、次年度への改善に生かす。
- (3) 教員の授業力向上のために
 - 校内研究では研究授業を年3回、「一人一研究」の研究授業を一人2回ずつ実施する。
- (4) GIGA スクール構想を推進し、PC 端末等を授業、家庭学習、保護者連携に活用する。
 - ① 早寝早起き・朝ご飯・歯磨き・家庭学習の励行とスクリーンタイムの制限等、家庭啓発に努める。
 - ② 1人1台端末を「日々の授業」、「家庭学習」、「保護者連携」等に効果的に活用する。

小中一貫教育に向けた方策

- (5) 五中・一中校区の小中学校との連携を深め9年間を見通した小中一貫教育の推進を図る。
 - ① 五中校区合同研究の研究構想図・研究主題をもとに目指す生徒像の育成に向けて追究する。
 - ② 小中各校同士の交流をさらに推進し、異校種の教員による特別授業等を試行する。
 - ③ 次期学習指導要領を見据えた五中校区スタンダードの改訂を図り、より実効性を高める。